

令和3年(2021年)7月16日(金) 2年GS課題探究基礎講座「総合的な探究の時間」

講師：岡田まなみさん、山本恵一朗さん(大阪府立大学生)

テーマ「海洋ごみ問題について」

大学生お二人は、大阪府立大学千葉知世准教授が代表を務める NPO「加太・友が島環境戦略研究会 (KATIES)」の学生団体「環境部エコロ助」のメンバーで、和歌山県にある無人島「友が島」、およびその対岸の漁師町「加太」を拠点に大阪湾の海洋ごみ問題と流域ガバナンスの改善に取り組んでいます。

海洋ごみとは何か、身近なペットボトルやプラスチックが海まで流れ出るとどのように有害となるのか、など海洋プラスチックごみの概要について説明を受け、引き続き、「どのような過程を経てごみが出るのか」について、A:作り手、B:売り手、C:買い手(家庭内)、D:買い手(外出先)と4グループに分かれ、それぞれ「いつ」、「どこから」、「どうして」ごみが出るのかを考えるグループワークを行いました。

普段、何気なく生活している中で、私たちがいかに大量のごみを出しているかに気付かされる内容でした。

今後、能勢町内の小中高校で予定している町内ごみ拾いや環境学習に向け、具体的な事前環境学習となりました。

